

そのマスクで大丈夫?



<きっかけ> マスク売り場にはどんな種類のマスクがどんなにあり合いで売っているのかまた、みんなはどんなマスクをしているのか気になりました。マスクの種類によって予防効果はどう違うのかを調べてみました。

不織布マスク



布マスク



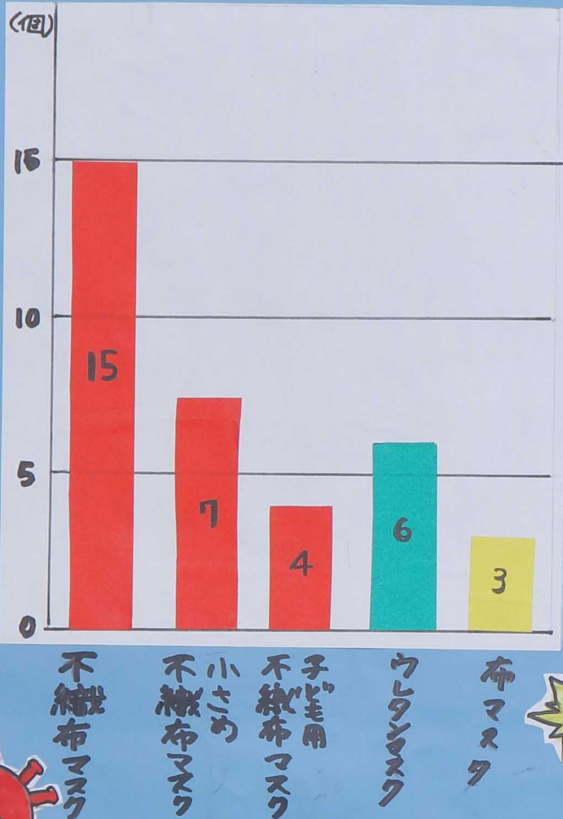
ウレタンマスク



売っているマスクのしゅるいは?

どんなマスクをかかっていますか

2021年8月24日スーパーマーケットのマスクの種類を調べました。

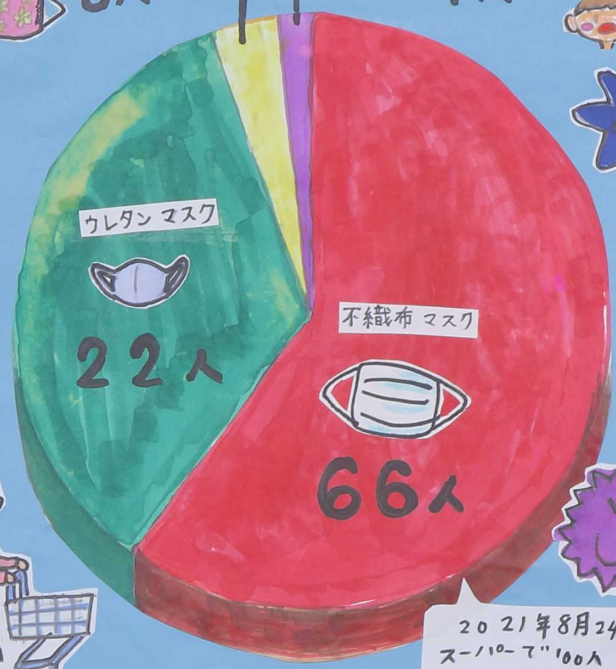


布マスク 8人



4人

ノーマスク



2021年8月24日調査
スーパーマーケット100人の
マスクを調べました。

マスクの交効果

*スーパーコンピュータ「富岳」によるシミュレーション結果 2020年10月15日会見
豊橋技術科学大学による実験値



マスクの予防効果が大きいのは不織布マスク→布マスク→ウレタンマスクの順番は「人」のようでした。不織布マスクが一番です。



	不織布マスク	布マスク	ウレタンマスク	ノーマスク
マスクによる ひま対策				
吹き出しの量	20%	18-34%	50%	100%
吸い込みの量	30%	55-65%	60-70%	100%

<まとめ> マスク売り場には不織布マスクが多かったです。町の人は不織布マスクが多かったが、あかい人や子どもはウレタンマスクが多かったです。予防効果は不織布マスクが一番なので、可能な人は不織布マスクにたのびたいと思います。なかには、体質で不織布マスクやマスクがつけられない人もいます。そこは思いやりが必要だと思います。